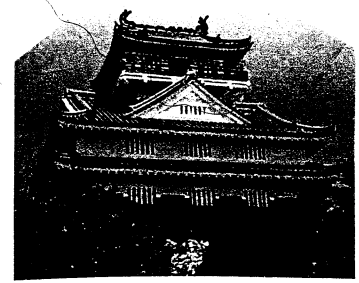


岐阜 金華山



稲葉城は、1201~1204年(土御門天皇の時代)に二階堂行政が軍事のため築城された。
現在の美しい岐阜城は、三層四階の立派なもので、1956年昭和31年に再建され、1997年平成9年には大改修された。

山頂からの展望は抜群で、東に木曾御岳、北に乗鞍、北アルプス、西に伊吹、養老、鈴鹿の山並、そして南に木曾の清流と濃尾の大平野、直下はきれいな長良川の清流と、見飽きることのない景観である。



美濃で戦国時代有名な斎藤道三は、土岐家の執権斎藤家を相続し、天文8年(1538年)稲葉城を築き、美濃の実権を握った。

永禄10年(1567年)稲葉山城は織田信長に占領された。信長は天正4年(1576年)岐阜城を長男信忠にゆづり、自分は安土城へ移った。